Moodle XML フォーマットから Excel フォーマット形式の変換

情報政策グループ 技術専門職員 畑 篤

1. はじめに

昨年、Excel シート上に一定の書式でテスト問題を記述し、Moodle 2の XML フォーマットに一括変換するツールを開発したことを報告した。このツールに、新たに Moodle 2の XML フォーマットから、Excel での小テスト作成フォーマット形式に変換する機能を追加した。

ここでは、追加した機能の技術的なことについて紹介する。

2. 小テスト問題の XML データ取得

Moodle 2 の小テスト問題文,解答,解答の選択肢,正誤等の別,配点,フィードバック等の情報を XML 形式でエクスポートすることができる。図 1 に Moodle 2 の小テスト解答結果を示す。

図 2 は Moodle 2 の小テスト問題を Moodle XML フォーマットでエクスポートしたものを示す。

エクスポートした,XMLの内容を基にExcel でのフォーマット形式にデータを変換すること とした。

所題5 不正解 0.00 / 1.00 ▼ 問題にフラグ付けます。 ✓ a. イギリス 正解です ✓ c. ドイツ 正解です ✓ d. イタリア ✓ e. スイス 間違いです 間違っています。 正答: イギリス, フランス, ドイツ, イタリア

図1 Moodle 小テスト問題解答例 (組み合わせ問題)

```
- <question type="multichoice">
   - <name>
        <text>問題03</text>
    </name>
   <questiontext format="html">
        <text>EUに加盟している国を答えなさい。</text>
    </guestiontext>
    <generalfeedback format="html">
        <text/>
    </generalfeedback>
    <defaultgrade>1.0000000</defaultgrade>
    <penalty>0.5000000</penalty>
    <hidden>0</hidden>
    <single>false</single>
    <shuffleanswers>false</shuffleanswers>
    <answernumbering>abc</answernumbering>
   - <correctfeedback format="html">
        <text>正解です</text>
     </correctfeedback>
   - <partiallycorrectfeedback format="html">
        <text>一部間違っています</text>
    </partiallycorrectfeedback>
   - <incorrectfeedback format="html">
       <text>間違っています</text>
    </incorrectfeedback>
   - <answer format="html" fraction="25">
        <text>イギリス</text>
      - <feedback format="html">
           <text>正解です</text>
        </feedback>
    </answer>
   - <answer format="html" fraction="25">
       <text>フランス</text>
      - <feedback format="html">
           <text>正解です</text>
        </feedback>
    </answer>
   - <answer format="html" fraction="25">
        <text>ドイツ</text>
       <feedback format="html">
           <text>正解です</text>
        </feedback>
    </answer>
   - <answer format="html" fraction="25">
        <text>イタリア</text>
      - <feedback format="html">
           <text>正解です</text>
        </feedback>
    </answer>
   <answer format="html" fraction="-100">
        <text>スイス</text>
      - <feedback format="html">
           <text>間違いです</text>
        </feedback>
    </answer>
 </question>
```

図 2 Moodle 小テスト問題の XML (組み合わせ問題)

3. XML 要素の取り出し

Moodle XML 形式から Excel 形式に変換する プログラムを開発した。

Moodle XML形式から Excel 形式の変換には, DOM (Document Object Model) を利用し, XML の各要素内容を取り出すこととした。

先ず、問題様式の取り出しについて、question type の属性値を利用した。

属性値とそれぞれのテスト問題形式の対応を 表1に示す。

表 1 question type とテスト問題形式

truefalse	正誤問題
multichoice	多肢選択問題
	多肢選択問題 (複数回答)
shortanswer	記述問題
matching	組み合わせ問題
numerical	数値問題
essay	エッセイ問題
description	説明
cloze	穴埋め問題
	(記述, 多肢選択, 数值)

多肢選択問題と多肢選択問題(複数回答)の区別については、 single 要素が「true」の場合は、多肢選択問題、「false」の場合は、多肢選択問題(複数回答)とした。

穴埋め問題の区別は, questiontext format="html" (問題) の要素内に記載されている,「1:SHORTANSWER:」,「1:MULTICHOICE:」,

「1: NUMERICAL:」を基に「記述」, 「多肢選択」, 「数値」問題の判別を行った。

図3に穴埋め問題の解答例,図4に,穴埋め問題の問題文XMLを示す。

合筆造り集落は、飛越地方の<mark>白川郷 √と富山県の西箇山 √</mark>にある合掌造りの集落郡で世界文化遺産となっている。

世界文化遺産となっている合掌造り集落は、飛越地方の白川郷と富山県の五箇山の合掌造り 集落です。

図3 Moodle 穴埋め(記述)問題の解答

<questiontext format="html">
<text>合掌造り集落は、飛越地方の
{1:SHORTANSWER:=白川郷#正解です}
と富山県の{1:SHORTANSWER:=
五箇山#正解です}にある合掌造りの集落
郡で世界文化遺産となっている。</text>
</questiontext>

図 4 Moodle 多肢選択問題の解答例

問題の採点については、answer 要素の fraction 属性値が 100 の場合、正答とした。 図 5 に多肢選択問題の解答例を、図 6 に多 肢選択問題の選択肢と、配点例の XML を示す。

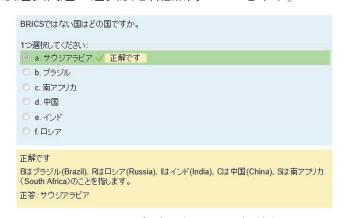


図 5 Moodle 多肢選択問題の解答例

図6 多肢選択問題の解答例

画像や音声データは、Base64 にエンコードされているため、Base64 データを画像、音声データにデコードすることとした。

図7は、XMLのBase64エンコードデータを、 図8にデコード後のファイルを示す。

```
<subquestion format="moodle_auto_format">
  <text>
       <![CDATA[<p>
         <img src="@@PLUGINFILE
           @@/salicylic acid.png"
           alt= "salicylic_acid" />
       ]]>
  </text>
  <file encoding="base64" name=
                          "salicylic_acid.png">
      iVBORw0KGgoAAAANSUhEUgAAAFIAAA
      BaCAIAAACkH
      MS00LDhILChILDksMTApMt5kHgAAAABJ
      RU5ErkJggg==
   </file>
   <answer>
       <text>サリチル酸</text>
   </answer>
</subquestion>
<subquestion format="moodle_auto_format">
   <text>
       <![CDATA[<p>
       <imgsrc="@@PLUGINFILE</pre>
         @@/methyl_salicylate.png"
     alt= "methyl_salicylate" />]]>
   </text>
   <file encoding="base64" name=
                        "methyl salicylate.png">
      iVBORw0KGgoAAAANSUhEUgAAAFoAAA\\
      BfCAIAAADnA
                   中略
      {\tt g2KTkvaDItNSw5SCwxSDO6LQS6AAAAAEl}
      FTkSuQmCC
   </file>
   <answer>
      <text>サリチル酸メチル</text>
</answer>
</subquestion>
```

図7 画像データ (Base64) を含む XML

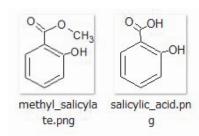


図8 デコード後の画像ファイル

以上の方法により、Moodle XML フォーマットから各要素を取り出すこととした。

しかし、XML データに同一の問題形式 (question type) が複数ある場合、問題単位での要素内容を取り出すことができないことが分かった。例えば、図 9 に示す XML について、「question type」値が「truefalse」の「text」要素を指定した場合、「問題 01」と「問題 03」が取り出される。

(/quiz/question[@type='truefalse']/name/text)

```
<quiz>
  <!-- question: 1 -->
   <question type="truefalse">
      <name>
        <text>問題 01</text>
      </name>
            中略
   </question>
  <!-- question: 2 -->
   <question type="multichoice">
      <name>
        <text>問題 02</text>
      </name>
            中略
   </question>
  <!-- question: 3 -->
   <question type="truefalse">
      <name>
        <text>問題 03</text>
      </name>
            中略
    </guestion>
</quiz>
```

図9 指定ノード要素の取り出し

それゆえ、問題毎の question 要素を取り出すため、問題毎の XML ファイルに分割することとした。ファイル分割後、問題毎の XML ファイル (trn[整理番号].xml)を読み込み、要素名と属性値を利用して、各要素内容を取り出した。



図 10 サンプル XML ファイルの分割例

4. Excel 形式への入力

取り出した,XML要素をExcelフォーマット 形式に従い,データ入力をすることとした。

Excel への入力については、次の設定を行った。

- 各項目の見出しセルに色を付ける セル. Interior.ColorIndex = カラーコード
- ・セル内の文字列を折り返して表示する セル.WrapText = True
- ・プルダウンリストを設けるプルダウンリストプログラムソース

With セル.Validation
Delete()
Add(Type:=Microsoft.Office.Interop.
Excel.XIDVType.xlValidateList,
AlertStyle:=Microsoft.Office.Interop.
Excel.XIDVAlertStyle.xlValidAlertStop,
Operator:= Microsoft.Office.Interop.Excel.
XlFormatConditionOperator.
xlBetween, Formula1:=
(プルダウンメニュー)
End With

XML から Excel フォーマット変換の画面を図 11 に、変換後のファイル画像を図 12 に、作成 した Excel ファイルの内容を図 13 に示す。

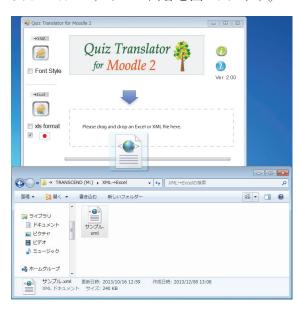


図 11 XML から Excel フォーマット変換画面



図 12 XML 変換により作成されたファイル



図 13 作成された Excel ファイルの内容

5. まとめ

Moodle 上に掲載されている小テスト問題を Moodle XML フォーマットでエクスポートした 後, Excel で作成した共通フォーマットに変換で きることにより,他のeラーニングシステムに 移行させることも容易に行えるので,大学間で のテスト問題資産を共有することが可能である。

文献

- (1) 木原 寛, 畑 篤, 富山大学総合情報基盤 センター広報, Vol.9, p.31-34 (2012)
- (2) 木原 寛, 畑 篤, 富山大学総合情報基盤 センター広報, Vol.10, p.22-27 (2013)